

5 エレベーター

1台以上のエレベーターの構造

	整備基準	図面及び各項目の名称・番号等	設計内容	判定	留意事項
				基準	
エレベーターの設置	エレベーターを設ける場合には、1 以上は、次の整備基準に適合させること。		(設置階) 階から 階		
籠の構造 (1 台以上のエレベーター)	内のり幅1.4m以上		(幅) 内のり m		ただし、下記の注意書きに掲げる構造の籠の場合、この項目は整備不要です。
	車椅子の転回に支障のない平面形状		(平面形状)		
	内のり奥行き1.35m以上		(奥行き) 内のり m		
	停止予定階及び現在位置の表示装置の設置		(設置の有無) ・有 ・無		
	到着階及び戸の閉鎖を知らせる音声装置の設置		(設置の有無) ・有 ・無		
	停止階ごとの開閉する出入口の方向を見やすい方法で表示		・標準的な設計の例による。 ・その他 ()		籠の出入口が複数ある場合に設置します。
	開閉する出入口の方向を知らせる音声装置の設置		(設置の有無) ・有 ・無		
	左右及び正面の側板に手すりを設置		(籠の出入口) 箇所 (手すり) ・有 ・無		籠の出入口が複数ある場合、出入口のある側板に手すりは不要です。
	籠及び昇降路の出入口の内のり幅90 c m以上		(内のり幅) c m		
	車椅子使用者用の制御装置 (床高100 c m程度) の設置		(床高) c m		
乗降ロビーの構造 (1 台以上のエレベーター)	視覚障害者が利用しやすい制御装置の構造 (点字による表示)		(点字表示) ・有 ・無		車椅子使用者用制御装置を除きます。
	車椅子使用者用の制御装置 (床高100 c m程度) の設置		(床高) c m		
	視覚障害者が利用しやすい制御装置の構造 (点字による表示)		(点字表示) ・有 ・無		
	幅及び奥行きが内のり1.5m以上の転回スペースの設置		(幅) 内のり m (奥行き) 内のり m		
	籠の昇降方向を知らせる音声装置の設置 (籠内に、戸の開く時に昇降方向を知らせる音声装置の設置でも可)		(設置の有無) ・有 ・無		

(注意) 1 整備基準の説明

籠の「床面積」と「平面形状」の規定を緩和できるのは、次の2項目に合致する構造の場合になります。

- (1) 籠の停止階が2のみ (ただし、車椅子使用者が車椅子で後退しながら、籠を降りる必要がない構造に限る)
- (2) 籠の内のり幅が0.95m以上